

三井記念病院 健診センター超音波業務

**【検査内容】**

- ・腹部超音波（肝臓、胆嚢、膵臓、脾臓、腎臓、腹部大動脈）
- ・泌尿器（膀胱、前立腺）
- ・頸動脈
- ・乳腺超音波

**【検査件数】**

- ・ 1時間に最低6人（検査+所見入力）目標

AM：8:30～12:00 頃

PM：13:00～

## 記録方法

### 1. 腹部超音波

腹部超音波検診マニュアルに準じる

肝臓：①嚢胞は最大径のみ計測する。5個以上は多発とする

前回5mm以下の嚢胞は観察し描出不能の場合は描出なしで可とする。

②嚢胞以外の腫瘍性病変5個まで計測する。可能であれば2方向から確認。

胆嚢：ポリープは3個まで計測、4個から多発とし、max値を記載する。

膵臓：腫瘍性病変はすべて記録する。多発の場合は多発とわかる画像で可とする。

計測は最低2個。

脾臓：脾腫はSI：40以上とする

腎臓：嚢胞は5個以上で多発とする。

計測はmax値のみで可。

腹部大動脈：拡張時は最大短径を記載する。計測方向は検診マニュアル参照。

### 2. 頸動脈

頸動脈ガイドライン（検診）に準じる

椎骨動脈のカラードプラは記録不要。

### 3. 泌尿器

膀胱：異常所見を認めない場合、縦断像、横断像、各1枚

隆起性病変、憩室など異常所見を認めた場合は2方向で記録。

隆起性病変は血流の有無を確認

前立腺：縦断像、横断像、各1枚

3方向から計測する。

### 4. 乳腺：乳腺甲状腺ガイドラインに準じる

腋窩リンパ節も記録する（2026.5 現在エラスト装置に搭載なし）